

社会福祉法人慈生会 ベトレヘム学園

〒204-0024 東京都清瀬市梅園 3-1 4-2 3 TEL 0 4 2(4 9 1)2 5 2 9 FAX 0 4 2(4 9 1)7 8 2 7



### 神宮の風に吹かれて

まだまだコロナが収束せず、異常気象など暗いニュースが続いていた昨今、私にとって唯一明るい話題は2年連続最下位であったヤクルトスワローズが突如としてリーグ優勝、その後も連日の接戦の末、見事日本一に輝いたことです。この優勝の要因の一つは高津監督が選手みんなに何度も繰り返し伝えた「絶対大丈夫」という言葉です。この言葉は前向きな行動を目標に向けてやり遂げようという心のエネルギーを強くするメッセージだそうです。でも何もやっていない、努力もしていない状態で言われても効果がありません。チームのみんなが努力していて、監督が選手たちから尊敬され信頼されていたからこそ、この言葉がパワーを生み優勝できたのだと思います。家庭も職場もこの様にありたいと思います。

コロナ禍でZoomなどが普及して便利になりましたがバーチャルの世界の映像は綺麗かもしれませんが、やはり実際の場所の風や匂い、温度など五感で感じる世界は全然違うと思います。今年はみんなで努力してコロナを収束させ、ぜひ神宮球場の風を感じに行きましょう。絶対大丈夫！

事務長 鈴木敏也

## ミニ夏祭り

夏祭りの思い出作りに企画した”ミニ夏祭り”。晴天の中、かき氷やヨーヨー釣り、綿あめやフランクフルトを用意して、限られた時間の中で思い切り楽しむ事ができました。あっという間の時間で物足りなそうな様子もありましたが、無事終わることができました。  
<荒城>



## ホーム行事

夏休み、コロナ禍で外出が難しいということで、こすもす、ゆりホームでは、おうち縁日を行いました。自分達だけのお祭りは大盛り上がりで、屋台飯もお腹いっぱい食べました！

秋には、ハロウィンで仮装をしたり、美術大学のボランティアさんにワークショップを開いてもらったり、自治会の方と地域の畑を借りて芋ほりをしたりと、数々のイベントがありました！





**ミニどんぐり祭**  
キッズコーナーでは、ぬいぐるみやおもちゃ等、子ども達が喜ぶ物が沢山売られていました。自分のおこづかいを持ってきて、何を買おうか真剣に悩んだり、目を輝かせて喜んだりしてる様子が多く見られました。  
<岩森>

## クリスマス会

今年のクリスマス会は、人形を使ったクリスマス劇の映像（中学生女子のナレーションが素敵でした！）に、子ども達のかわいい出し物、頼もしい新任職員の紹介の映像とにぎやかに行いました。いつかまた子ども達の演じるクリスマス劇が復活できればと思っています。

<鈴木真奈美>



## 成人のお祝い会

今年の新成人に加え、コロナで中止となった昨年の新成人も招き、成人お祝い会を行いました。卒園以来、久し振りに会う卒園生も居ました。近況報告や在園時のエピソードで時間を忘れ、盛り上がりました。成人おめでとう。これからの活躍をお祈りしています。<上原>



## ご寄付を頂いた皆様 令和3年5月～令和4年1月

株式会社チュチュアンナ1%クラブ様/東京都蒔蒔協同組合様/JAIFA東京協会様  
車社会環境改善協議会様/株式会社ビタットジャパン様/株式会社フレーベル館出版部様  
ありさんプロ株式会社様/石田あけ美様/染谷政男様/梶本正夫様/キムチ物産様/久田幸子様  
照井澄江様/大平伸江様/浅賀孝子様/ミスターX様/株式会社包む様/株式会社スナックミー様  
土屋勇多様/小田昭子様/晃華学園様/吉春由美様/武田幸品工業株式会社様/塩田恵様  
全国シャンメリー協同組合様/株式会社アシックスサステナビリティ統括部  
サステナビリティ部環境・コミュニティチーム様/日本鏡餅組合様  
(株)メリーチョコレートカンパニー様/ワールドメイド様  
東洋英和女学院小学部ボランティア委員会様/株式会社一蘭様/藤波聖子様/エグザム様  
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団様/東京馬生協会様/あーす歯科様/岩崎都喜子様  
株式会社コーラ様/ほっともっとな様/NPO法人きもの笑福様/前澤サンタ事務局様  
他、匿名の方からも頂いております。いつも本当にありがとうございます。

### 永年勤続表彰

20年 中本次郎さん  
10年 岡田あさみさん・早川美里さん・  
塚田健人さん  
長年子ども達へのご尽力に感謝します。  
これからも宜しくお願い致します。

### 今年度退職された職員

倉本萌里さん・小山陽子さん・齋藤大介さん  
ご功労に感謝し、今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### アニマルセラピー

ボランティアさんとわんちゃんに月一回来園してもらい、活動しています。わんちゃんの気持ちを考えながら、お散歩や触れ合いをします。もう七年が経とうとしている活動で、参加する子ども達は年々変化していますが、年上の子が新メンバーにわんちゃんとの関わり方のルールを教える場面も見かけるようになり、すっかり学園の活動として定着しています。ボランティアさんには、時に厳しく愛情一杯に子ども達の成長を見守って頂いています。この二年はコロナ禍により、活動も制限されていますが、子ども達にも職員にも、大事ないやしのひとときです。<山下>



### 編集後記

コロナ禍の不自由な生活が始まり、二年が経とうとしています。今年度も、各種行事は例年通りとはいきませんでした。しかし、こうして振り返ってみると、様々なイベントを、出来る形で実施していました。その時にできることで目いっぱい楽しむ。それがコロナ禍でも元気を忘れない暮らし方なのかもしれません。  
<橋本将太>